

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	特定非営利活動法人さぼてん			
○保護者評価実施期間	R7年 2月 17日 ～ R7年 3月 15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	R7年 2月 17日 ～ R7年 3月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の特性に合わせた支援計画の作成や活動設定を行う。都度ミーティングで全体共有することでPDCAサイクルに繋がっていること。 ・内外部研修を積極的に行い職員全体のスキルアップを目指していること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングや全体会議、コンサルテーション等職員同士が児童の様子や支援について共有し話し合う機会を多く設けている。 ・各活動に担当をつけ、児発管と担当職員が直接やり取りをすることで、責任感を持つことやスキルアップを目指す。 ・経験や専門性の高い先輩職員からのOJT環境や、研修を受け、キャリアアップの環境を整えている。また、法人で支援に関する専門書を購入し、貸出図書を設置している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のスキルアップへの取り組みの継続。 ・保護者との情報共有の継続。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の成功体験や、「楽しい」「もっとやりたい」という気持ちを引き出す環境設定を大切にしていること。 ・積極的に取り組むことで児童自身が持つ力を発揮し、更に力を身につけることが出来ると考える元、取り組んでいること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や家庭とは別の第三の居場所として、遊びの中で沢山のことを学ぶ場であって欲しいと考えます。積極的に療育活動、自由活動に取り組む事で、お友達や支援者との様々な前向きなやり取りができます。メリハリをつけたり、自分の思いを伝えたり、相手に寄り添ったりと、周囲との関係がうまくいく方法や社会に必要なスキルを身に着けます。 ・年齢や特性など個々に合わせた活動が出来るよう工夫しています。グラウンド、中庭、畑、その他公共の公園や体育館等恵まれた周囲環境も生かしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人設立から13年が経ち、設立当初から在籍している児童も多く、年齢層にも幅が出てきました。 活動のグループ分けを今までもしてきましたが、もう一歩工夫をし、障がいの程度や年齢に合わせた活動設定を更に充実していきたいと考えます。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や関係機関との情報共有や連携を大切にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者とは連絡ノートや電話、お迎え時の引継ぎ等で情報共有しています。必要に応じて保護者了解のもと相談事業所や学校と情報共有をしたり、ケース会議に参加したりもします。 ・保護者主催の地域の放課後等デイ合同説明会に共催することで、対保護者だけでなく地域の支援機関や学童などの先生方からも反響がありました。関係機関に放課後等デイの役割を知ってもらい、連携体制を整えることで幅の広い支援が期待出来ます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談事業所や特別支援学校、地域の小学校や学童、その他関係機関との横のつながりを大切にする事で各機関が連携した幅の広い支援が出来るよう今後も工夫していきたいと考えます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等での情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙ベースでの活動カレンダーや内容のお知らせを配布したり、タブレットで撮影した動画をお迎え時に見て頂いたりしているが、ホームページでの情報発信は不定期であり、弱みであるとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に更新できる作業の流れを作る。

2	<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会の活動支援や保護者同士、兄弟同士の交流の機会を設ける事 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者主催の「親子ヨガ」を地域交流事業として支援している取り組みの周知をしていない事。 ・保護者の就労や児童や兄弟の習い事等、それぞれのご家庭の予定がある中での交流会開催日時の設定や、開所日以外の職員の確保が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する方だけでいいのではという保護者からのご意見も頂いており、まずは小規模な開催から取り組んでみることも検討する。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時の対応への保護者への周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練実施時には実施報告を配布したりホームページにて発信したりしているが、アンケート結果から周知しきれていないことがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時についての対応マニュアルを再度整備し、周知を目指す。